

【改訂版】いわて子どものこころのサポートについて(事業スケジュール) 岩手県教育委員会 H23.6

時期	取組等について	内容等について	備考
3月2週	災害直後から1~2週間(安全感・安心感が回復できるようなかかわりをしましょう)		
	こころのサポートチーム編成 ・県内臨床心理士(6名) ・総合教育センター(特別支援教育) ・総合教育センター(教育相談) ・学識経験者	○研修プログラムの作成 ①子どもの心の理解とサポート ②児童生徒との接し方 ③今後の見通し ○目的訪問の計画作成 ①学校訪問 ②教育事務所、教育委員会訪問 ○その他の活動の実施	
4週	災害から2週間~1ヶ月(ボランティアとチームを組み、“子ども遊び隊”など避難所巡回活動)		
	研修会1(急性期) こころのサポートチームが実施する	①子どもの心の理解とサポート ②児童生徒との接し方 ③今後の見通し	○県内17カ所で実施
5月	災害から2ヶ月~半年(こころのサポートの授業(仲間づくり、ストレスマネジメント、上手な話の聴き方など)開始)		
4月下旬 (内陸)	こころのサポート授業1 教員が実施する	○こころとからだの健康観察(5版)の実施 健康について考え、よい対処を出し合う 友達・先生との絆を深める ○担任による個別面談 1人5分程度、健康と絆を中心に	◆相談電話 ふれあい電話 対象:児童生徒、保護者 教員のための教育相談電話 対象:教員、スクールカウンセラー ◆緊急支援派遣 ◆サポートチームによる目的訪問
5月1週 (沿岸)			
	心理教育 ストレスマネジメント 実施期間:6週間を想定 学校支援カウンセラー(県外チーム)	・ハイリスクの児童生徒を医療へつなぐ ・中等度の児童生徒を相談機関へつなぐ ・上記以外の児童生徒を学校で対応	学校医等・ケアセンターとの連携 【対象】小58校、中33校、高14校、特支2校 【1週間当たりの学校支援カウンセラー数】 小中学校で46人(のべ276人) 高等学校、特別支援学校で12人(のべ72人)
6月	カウンセリングルーム の開設 ※学校支援カウンセラー終了	○沿岸6市町に設置(小中学校対応) ○大船渡、釜石、宮古地区に設置(高校対応)	火、木、土の9:00~17:00を想定 ※土曜日は、保護者等の利用を想定
7月末			
8月上旬	研修会2(中期1) こころのサポートチームが実施する	○トラウマ反応の理解とその対処法 ○「こころのサポート授業2」の周知	○全県対象9カ所で実施予定
9月	こころのサポート授業2 学校教員が実施する	○こころとからだの健康観察(19版、31版)の実施 ○担任による個別面談	ストレス反応への有効な対処を学ぶ 友達・先生との絆を深める 1人5分程度、健康と絆を中心に
	継続的な指導・観察 学校、岩手県スクールカウンセラー	○学校における継続的な指導・観察 ・ハイリスクの児童生徒を医療へつなぐ ・中等度の児童生徒を相談機関へつなぐ ・上記以外の児童生徒を学校で対応	学校医等・ケアセンターとの連携 岩手県臨床心理士会との連携
12月			
1月	研修会3(中期2) こころのサポートチームが実施する	○回避へのチャレンジ	○沿岸部4カ所で実施
2月	継続的な指導・観察	○学校における継続的な指導・観察 ・ハイリスクの児童生徒を医療へつなぐ ・中等度の児童生徒を相談機関へつなぐ ・上記以外の児童生徒を学校で対応	学校医等・ケアセンターとの連携 岩手県臨床心理士会との連携
3月	災害から1年(つらい体験に向き合う機会です。追悼の会を大切にしましょう)		

3月まで継続して実施する